

鳥取県中部地震 合同対策本部ニュース

vol.⑤

発行元：鳥取民医連・鳥取医療生協
鳥取県中部地震合同対策本部
連絡先：0857-24-6161

25日18時現在
被害・避難状況

◆人的被害 19人（重傷3、軽傷16）

◆住民避難 552人、

◆住宅被害 600棟（全壊2、半壊3、一部破損595）

◆公共土木施設被害 62カ所

夕方避難所訪問行動を開始！

震災発生から6日目となる26日（水）。生協病院より川西師長・村崎PSW、鹿野温泉病院から秋吉介護福祉士と竹中課長が参加。上灘小学校の避難所を訪問しました。「高齢者同士で避難しているので”さみしさをあまり感じない”と言われているが、日々避難所から人が減っていくと、日中の家の片付けが思うように進まない”あせり・孤独感・不安”といったことが生じてきているように感じる」「ゴミ出しボランティアの要求が多かったように思う」との報告がありました。



医福連からも全国へ支援要請が発信される！ 支援行動へ職員ぞくぞくエントリー!!

集中行動日に向けて準備すすむ！

日本医療福祉生協連からも全国に向けて、鳥取県中部地震への支援を呼びかける通達（2016-312号）が本日発信されました。

集中行動、夕方避難所訪問行動へのエントリーは、各事業所から続々と届いています。

★集中行動のエントリー状況

10/29（土）16人 10/30（日）14人

11/3（祝）9人 11/5（土）12人 11/6（日）7人

★夕方避難所訪問行動は、メンバー調整の上、支援の日程を連絡させていただきます。



▲組合員訪問の地図落としに励む担当者

*** 県が一部損壊にも支援決定 ***

鳥取県は24日、知事専決で被災者支援の補正予算をくみ、住宅再建支援として一部損壊に最大30万円の支援補助や被災者生活復興支援貸付事業などの実施を決定し、地元紙にも大きく掲載されました。国の基準（全壊300万円、半壊150万円、一部損壊0円）を上回るいち早い支援決定は、被災者を励ますもので、組合員訪問などでしっかりと情報を届けていきたいと思えます。

住宅再建支援の上限額引き上げや「罹災証明書」の早期交付など、住民要望をつかみ行政に届け、生活再建を支援する取り組みをさらにすすめていきましょう。



▲週末の集中行動に向けて、現地災害対策本部員で倉吉市内の被害状況を確認。八万神社（倉吉市緑町）の石鳥居が崩壊。市内あちこちでブルーシートを張った家が多い。25日現在、県中部の自治体へ被害届が約1800件寄せられるなど、住宅に深刻な被害が出ています。